

三重県政記者クラブ・田原市政記者
クラブ・鳥羽志摩記者クラブ同時発表

平成23年2月16日（水）
愛知県地域振興部交通対策課
エコモビリティライフ推進グループ
担当 柴山、梅田 内線 2384,2385
（ダイヤルイン）052-954-6125

第3回鳥羽伊良湖航路活性化協議会の結果概要について

平成23年2月16日（水）午後1時30分から伊勢湾フェリー鳥羽ターミナルにおいて開催された第3回鳥羽伊良湖航路活性化協議会の結果概要については、下記のとおりです。

記

1 日 時

平成23年2月16日（水）午後1時30分から午後4時30分まで

2 場 所

伊勢湾フェリー鳥羽ターミナル2階多目的ホール

3 内 容

別添「結果概要」のとおり

第3回鳥羽伊良湖航路活性化協議会の結果概要

1 日 時

平成23年2月16日（水）午後1時30分から午後4時30分まで

2 場 所

伊勢湾フェリー鳥羽ターミナル2階多目的ホール

3 出席者

別紙「出席者名簿」のとおり

4 内 容

- 平成22年12月17日付で、地域公共交通総合連携計画の策定に対する国の補助金の交付決定を受けたことに伴う平成22年度補正予算について事務局から報告。
 - ・補正後の予算額 7,646千円
- 地域公共交通総合連携計画策定の基本方針に基づく調査結果について事務局から報告。

【調査結果の主な概要】

調査名	対象・回収数等	主な概要
伊勢湾フェリー利用者アンケート	個人客905票、 団体客1,140票	<p>《個人客》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェリーで移動する理由は、陸路に比べて「早く着く」、「渋滞がない」、「休憩できる」が上位を占めている。 ・移動目的は、観光やレジャー（サイクリング・釣り等）が全体の7割以上を占めている。 <p>《個人客・団体客》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船内や乗り場の満足度は高いが、船室や船内売店、トイレ、乗り場の待合スペースや売店、観光案内などへの改善意見がある。 ・鳥羽市・田原市で関心のある旅行では、「食めぐり」や「歴史・文化・パワースポット巡り」の関心が高い。
ウェブアンケート	東京23区、横浜市、名古屋市、浜松市、津市、豊橋市、静岡市、大阪市、京都市、金沢市、飛騨市の20代以上の居住者計1,100票	<ul style="list-style-type: none"> ・関東・北陸・関西地域では、伊勢湾フェリーの認知度は低く、半数近くが伊勢湾フェリーを「知らない」と回答。 ・課題として、「料金が低い」、「欠航が多い」、「待ち時間が長い」等が挙げられている。 ・伊勢湾フェリーの魅力向上及び利用条件では、高速料金とフェリーのセット利用時の割引や公共交通との接続の充実、おすすめスポットの情報提供などを求める意見があった。

旅行業者へのヒアリング等	ヒアリング 国内10社 アンケート 海外2社	《国内》 ・旅行ルートとしては、移動手段のバリエーションを増やすため、フェリーを片道利用することが多い。 ・フェリー利用の問題点として、「運賃が高い」、「高速道路と比べると時間がかかる」、「欠航」等が挙げられている。 ・客層は女性高齢者が中心で、食事、寺社、パワースポット等が人気。 ・フェリーをただの移動手段ではなく、イベントやアトラクションなどで付加価値を付けることが必要との意見。 《海外》 ・韓国からの観光では、大阪から東京、仙台に移動するツアーが定番商品の一つであり、その中で、途中鳥羽から伊良湖にフェリーを使って移動するルートも企画している。 ・鳥羽や田原の情報が少なく、情報発信が必要との意見。
--------------	---------------------------------	---

- 上記の調査結果を踏まえて、23年度から25年度までに取り組む利用促進策等を取りまとめた「地域公共交通総合連携計画」（案）を承認。

【地域公共交通総合連携計画（案）の目標を達成するために行なう事業（概要）】

事業名	主な内容
1 潜在需要の開拓、旅行商品化事業	○国内及び海外旅行者をターゲットにした旅行商品の企画・造成 ○旅行商品の各種メディアへの広告掲載・店頭キャンペーン等のPR活動の実施
2 航路情報の発信、誘導強化事業	○マスメディア、Web等を活用した情報発信・広報宣伝の実施 ○幹線道路沿いへの誘導看板の設置 ○フェリーに親しみをもちってもらうための写真コンテスト等の実施
3 航路の魅力・快適性向上事業	○団体客を対象としたブリッジ（操舵室）見学の実施 ○利用者へ地元の特産品プレゼント ○鳥羽ターミナルのバリアフリー化 ○伊勢・鳥羽・志摩地域と東三河地域の観光情報を盛り込んだパンフレットの作成など観光案内の充実
4 地域間交流促進事業	○遠足、体験学習、団体旅行への働きかけや交流イベントなどの実施
5 他交通機関との連携強化事業	○自転車利用者を対象としたサイクル&シippライドの実施 ○バスなど他の交通機関での乗継アナウンスの強化

- 「地域公共交通総合連携計画」（案）について、下記の日程でパブリックコメントを実施することを承認。

パブリックコメント日程：

平成23年2月21日（月）から3月6日（日）までの期間

第3回鳥羽伊良湖航路活性化協議会出席者名簿

団体名	職名	氏名
鳥羽市	副市長（協議会会長）	木下 憲一
	観光課長	山下 正樹
	定期船課長	山本 芳照
田原市	産業振興部商工観光課長	伊藤 康弘
	市民環境部市民協働課長	渡邊 澄子
伊勢湾フェリー(株)	取締役社長	福武 章夫
中部運輸局	企画観光部交通企画課長	中野 晶子
	海事振興部旅客課長	高木 光輝
愛知県	地域振興部交通対策課長	松井 圭介
	産業労働部観光コンベンション課長	石垣 武則
三重県	政策部交通政策室長（代理）副室長	松井 一明
立教大学観光学部	教授	安島 博幸
名古屋大学大学院	准教授	加藤 博和
三菱UFJリサーチ&コンサルティング	名古屋本部観光・交流政策グループ長	田中 三文
鳥羽市観光協会	会長	仲野 千里
田原市観光協会	理事	柴崎 剛
田原市商工会	参事（協議会監事）	鈴木 武人
渥美商工会	事務局長	榊原 宣克
鳥羽市自治会連合会	会長	傍島 寛
田原市校区総代会	副会長	山本 達夫
全日本海員組合	名古屋支部長	森本 雷行

※欠席した委員：北村文明三重県農水商工部観光局観光交流室長

清水清嗣鳥羽商工会議所専務理事